

「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業

“Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



Songnam Middle School



交流授業

第1回交流授業



韓国の学校について聞いている様子



好きなものについて紹介している様子

①挨拶（全体）

両校の英語担当教員と生徒が挨拶を行い、担当教員が交流授業の流れを確認した。

②学校紹介（全体）

両校の英語担当教員が、学校の様子、学校行事等について、パワーポイント資料を提示しながら紹介を行った。

③自己紹介（グループ）

両校の生徒を5グループに分け（1グループ：Songnam Middle School 4名、本郷中学校 5～6名）、グループMeetで各自の名前と好きなものについて簡単な自己紹介を行った。生徒は自分の名前を書いたカードと好きなもののイラストや写真、実物を用意し、画面に映しながら紹介した。

④Q&A（グループ）

自己紹介後は、互いが話した内容についてコメントを伝え合ったり、質問したりしながら交流した。

⑤振り返り（全体）

両校の英語担当教員が振り返りを行った。

《接続方法：Google Meet》

大切にしたこと

- ・生徒同士が英語でコミュニケーションを図る時間を最大限に確保することを大切に。そのため、小グループで交流を行うことで生徒一人一人の発言機会が多くなるようにした。
- ・生徒がやり取りする際、音声だけではなく、提示資料があった方が互いに理解しやすいと考え、2回目の交流授業ではスライドの共有を行った。

生徒の声

- ・外国の人と英語で会話することが新鮮だった。
- ・色々な表現を身に付けて、質問を準備して、もっと会話ができるようにしたい。
- ・実際に英語を使って会話することは難しかったけれど、表情を見たりできたので楽しかった。
- ・スライドで紹介したことなどで話題が広がり、話が弾んでとても楽しかった。
- ・言語が違っても、英語で自分が言いたいことが伝わった時は、とても楽しかった。

交流を終えて

三原市立本郷中学校



第2回交流授業



前回話したメンバーと再会した時の様子



韓国の生徒のプレゼンテーションを聞いている様子

①挨拶（全体）

両校の英語担当教員と生徒が挨拶を行い、担当教員が互いの学校の近況を伝え合った。

②自分の国・興味のあること紹介（グループ）

自分の国のこと（文化、場所、食べ物、アニメ等）について、または、韓国のこと（文化、K-pop、ドラマ等）について互いに紹介した。その際、事前に作成したスライドを画面共有した。

※事前の担当教員間の連携で、互いに発表内容を理解しやすくするため、スライドを作成することを確認した。スライドには、写真、イラストに加え、文章も載せた。

③Q&A（グループ）

一人の発表が終わるたびに感想を伝え合ったり、質問をしたりしながら交流した。

④振り返り（全体）

両校の英語担当教員が活動を振り返り、フィードバックを行った。

《接続方法：Google Meet》

先生の声

- ・「もっと話したい。」「次は〇〇したい。」と前向きに取り組み、交流を楽しむ姿が見られ、本事業に参加して本当によかったと思う。
- ・英語で話すという経験をしたこと、またその経験から「通じる」という自信を得た生徒が多かった。
- ・英語を使う必要性があったことで、準備にも一生懸命取り組む姿が見られた。